
● 目 次 ●

- * トピックス
 - * 全数把握疾患
 - * 警報・注意報
 - * リンク
-

★トピックス★

百日咳が流行しています

● 百日咳が流行しています

<百日咳について>

百日咳は、主に百日咳菌（*Bordetella pertussis*）を原因とする急性気道感染症で、感染力が強く、特有のけいれん性の激しい咳発作（痙咳発作）を特徴としています。

世界的に見られる疾患で、いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となっており、乳児（特に新生児や乳児早期）では重症化することがあり、肺炎、脳症を合併すると、まれに死に至ることもあります。

<発生状況>

全国的に百日咳の発生報告が増加しています。

全国における発生状況は、2023年は1,009件、2024年は4,054件でしたが、2025年は第21週（5月25日）までに22,351件となっており、新潟県、東京都、大阪府、兵庫県、福岡県の順に報告数が多くなっています。

宇都宮市内における発生状況は、2023年は0件でしたが、2024年は7件の発生が報告され、2025年は1月から5月までの間に60件の報告がされています。

最近では、新型コロナウイルス感染症の流行により呼吸器感染症に対する感染対策の強化に伴い、全世界で2020年から2022年にかけて報告数が減少していましたが、対策が緩和されるとともに2023年以降に流行が報告されています。

<主な症状>

経過は3期に分けられ、全経過で約2～3カ月で回復するとされています。

1. カタル期（約2週間持続）

かぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

2. 痙咳期（カタル期の後に約2～3週間持続）

次第に特徴ある発作性けいれん性の咳（痙咳）となります。夜間の発作が多いですが、年齢が小さいほど症状は多様で、乳児期早期では特徴的な咳がなく、単に息を止めているような無呼吸発作からチアノーゼ、けいれん、呼吸停止と進展することがあります。合併症としては肺炎や脳症などもあり特に乳児では注意が必要です。

3. 回復期

激しい発作は次第に減衰し、2～3週間で認められなくなります。成人の百日咳では咳が長期にわたって持続しますが、典型的な発作性の咳を示すことはなく、やがて回復に向かいます。全経過で約2～3カ月で回復します。

<感染経路>

鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染や、感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）とされています。

<治療>

生後6カ月以上は、抗菌薬による治療が検討されます。また、咳が激しい場合には咳止め等の対症療法が行われることがあります。

第一選択薬として用いられるマクロライド系抗菌薬に対する耐性株の報告が2008年頃から東アジアで増加しており、2024年には国内でも報告があります。

<予防と対策>

百日咳の予防には、5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効です。

百日咳ワクチンを含む接種は、わが国を含めて世界各国で実施されており、その普及とともに各国で百日咳の発生数は激減しています。しかし、ワクチン接種を行っていない人や接種後年数が経過し、免疫が減衰した人での発病はわが国でも見られており、世界各国でいまだ多くの流行が発生しています。

<百日咳：厚生労働省>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansen/shou19/whooping_cough.html

<百日咳の発生状況について：国立健康危機管理研究機構>

https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/020/2504_pertussis_RA.html

・5月期（4月28日～6月1日の5週間）に市内で発生した全数把握疾患は、次のとおりでした。

- 1類感染症…届出なし
- 2類感染症…結核：3件
- 3類感染症…腸管出血性大腸菌感染症：2件
- 4類感染症…レジオネラ症：1件
- 5類感染症…アメーバ赤痢：1件
 - 侵襲性肺炎球菌感染症：2件
 - 梅毒：4件
 - 播種性クリプトコックス症：1件
 - 百日咳：54件

◆警報・注意報◆

4月28日～6月1日の国立感染症研究所の感染症発生動向警報システムによる市内の感染症警報・注意報は、次のとおりです。

- 18週 警報：伝染性紅斑（宇都宮，県西，県南，県北，安足，県全体）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北）
流行性角結膜炎（県東）

注意報：なし

- 19週 警報：伝染性紅斑（宇都宮，県西，県南，県北，安足，県全体）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北）
流行性角結膜炎（県東）

注意報：なし

- 20週 警報：伝染性紅斑（宇都宮，県西，県南，県北，安足，県全体）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北）

注意報：水痘（安足地区）

- 21週 警報：伝染性紅斑（宇都宮，県西，県南，県北，安足，県全体）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北）

注意報：なし

- 22週 警報：伝染性紅斑（宇都宮，県西，県南，県北，安足，県全体）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北）

注意報：なし

警報・注意報の解説（栃木県感染症情報センター）

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e60/tidctop.html>

★リンク★

○令和7年度感染症発生状況（宇都宮市）

<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/kenko/iryo/kansensho/1004513.html>

○栃木県感染症情報センター（県内の状況）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/e60/tidctop.html>

○国立感染症研究所感染症情報センター（全国の状況）

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

○感染症法に基づく届出基準と様式

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01.html>
